

2009 年室内環境学会第1回役員会議事要旨

日 時：平成 21 年 1 月 26 日（月）15 時～17 時
場 所：（株）アイデック事務所内 5 階会議室
出席者：小野、川上、樺田、熊谷、篠原
事務局：中島、松村、色摩
オブザーバー：埋橋（空気清浄機器検定協会理事長）
欠席者：池田、関根、中井、野崎、柳、柳沢

議事次第

1) 平成 21 年度役員・評議員について

小野会長より平成 21 年度役員について説明があり、九州支部長が今年度から樺田尚樹氏に改選された旨報告があった。渡辺文雄氏（ガステック）が評議員として推薦された。また現在の評議員の任期を整理するとともに、今年度総会に向け、担当する近畿支部会員より必要に応じて 2～3 名評議員に推薦する案が出された。

2) 各委員会報告事項

出版委員会：川上委員長より、委員の紹介と今年度の活動計画が説明された。若干委員の増員も予定しているとの説明があった。その他、出版委員会人事に関する内規（案）の説明があり、出版委員会内で議論することとなった。査読者公表制度について質疑応答がなされた他、現在の投稿状況、総会における受賞者への投稿呼びかけを行った件に関して報告があった。

広報委員会：篠原委員長より、委員の変更と募集に関して説明があり、活動計画が示された。現在のホームページ(HP)の訂正・更新等を上半期に行なう件、名誉会員紹介のページ作成を予定している件、HP 以外の媒体による広報活動等について説明があった。掲載論文のテキスト化についてそのメリットについて質問があり、検索に対応するためとの説明があった。また、HP への掲載依頼についての指示系統（事業委員長→広報委員長、メーリングリストの場合は事務局で対応）を確認した。

九州支部：樺田支部長より活動計画が説明された。役員の変更があったこと、今年度の活動として 1 月 23 日に大気環境学会九州支部会とジョイントして特別講演会・研究発表会を開催した旨報告があった。

学術委員会：小野会長より活動計画が説明された。英文誌の刊行・日韓台との共同出版、学術賞の選考に関し、他委員会との整理・連携及び調整について意見が出された。

標準化委員会：小野会長より、化学物質に関する状況について委員長出席の役員会で確認することとなった。

3) 空気清浄機器検定協会に関して

埋橋理事長より、協会設立の経緯、社団法人申請の状況、検定対象と協力依頼機関、協会組織、協会運営及び今季の実施内容について説明があった。学会と協会との関係、標準法の著作権・実施権の問題、運営及び責任等に関する質疑応答があった。途中経過はその都度報告することとなった。

4) 2008 年度決算中間報告

総会の決算が出てから、2008 年度の決算を次回役員会で承認後、2009 年度予算を確定し、各委員会予算を調整することとなった。

5) 会則改定に対するパブリックコメントについて

至急 HP に掲載し、3 月末までにパブコメを募り、次回の役員会で決定する方針が確認された。パブリックコメントのお知らせはメールで行なうこととし、メールのない会員についてはハガキで連絡することが確認された。改訂された会則は次号「室内環境」に掲載することとなった。

6) その他

- ・役員会の議事録概要を HP に掲載する。別途、評議員に対する議事録は作成しないこととした。
- ・会誌の広告掲載は現在 5 社、(25,000 円/号×2)/年。掲載呼びかけの協力依頼があった。
- ・委員会・役員会の旅費の支給については次回役員会で検討することとした。
- ・支部会費の支給は年度終わりではなく、年度始めにお願いしたいとの意見があった。
- ・分科会代表の確認があり、化学物質は関根氏、燃焼器具は野崎氏、微生物は阿部氏、の体制となることが確認された。